

# 不要ぬいぐるみ 途上国へ

## タイ・バンコクで初贈呈式



寄贈されたぬいぐるみを手を喜び子供たち＝タイ・バンコク

不要になったぬいぐるみの提供と輸送などの費用を負担してもらい、クリーニングした上で途上国などの外国の子供たちに寄贈する事業に、府内のクリーニング業者らで結成する一般社団法人「MAST支援会」（大阪市淀川区）が取り組んでいる。11月5日には、タイ・バンコクで初の贈呈式も行われ、約170体のぬいぐるみが新たな持ち主に届けられた。同会では「大切な思い出が詰まって捨てられないぬいぐるみに新たな人生を歩ませてあげて」と協力を呼びかけている。

### 府内クリーニング業者らの支援会

70サイズの袋に可能なだけ詰め込めるプランが1万8000円。

大阪府と和歌山県のクリーニング店計約110店以上にあるチラシに必要事項を記入してファクス（06・6838・4160）か、Eメール（[niigun@e-cps.org](mailto:niigun@e-cps.org)）、同会のホームページ（<http://e-cps.org>）の所定のフォームなどで寄贈を申し込み、同会から郵送する袋にぬいぐるみを詰めて送り返してもらう。

ぬいぐるみは輸送前に、社会福祉法人・加島友愛会「かしま障害者センター」（大阪市淀川区）で働いている知的障害を持つスタッフたちが、1体ずつすべて手作業でクリーニング。子供の口に入っても大丈夫な洗剤をタオルに染み込ませて丁寧にふき、破れている部分などがあれば縫い合わせも行う。

これまでに約200体のぬいぐるみが寄せられ、初めてこのうち約170体がタイに渡り、児童養護施設など3カ所の子供たちに手渡された。贈呈式に出席した理事の加藤隆昭さん（48）は「世界中で知られている日本のアニメキャラクターのぬいぐるみなどは取り合いになるほどの人気ぶりだ」と話していた。

同会は、社会貢献活動などを目的に今年4月に発足、8月から寄贈用のぬいぐるみを募集している。同会によると、途上国や新興国ではぬいぐるみなどの玩具はまだまだ高価で、養護施設などではなかなか入手できないという。ぬいぐるみの寄贈にはクリーニングや海外輸送、新たな持ち主となる子供へのメッセージカード、スタッフの渡航、翻訳などに充てられる費用の負担が必要で、ぬいぐるみ1体だけのプランが6480円、約60センチ×約



平成26年(2014) 12月1日 12月1日付

12月1日



紙面記事への意見、お問い合わせ  
06-6533-9086 平日9時～18時 土曜9時～17時 日曜10時～17時  
odokusha@sanki.co.jp  
広告・配達に関するお問い合わせ  
06-6533-9357 平日9時～18時 土曜9時～17時  
<http://sanki-hanbai.com/> (F5C6)  
購読のお申し込み  
0120-34-3733 (平日9時～18時 土曜9時～17時)  
<http://www.sanki.co.jp/reader>

産経新聞販売センター  
THE SANKEI SHIMBUN  
〒158-8500 大阪府東淀川区東中津2-1-17  
TEL 06-6533-1221 (大阪)